

2020年度

授業概要

科目名	高次脳機能障害治療学			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必須	配当学年 時期	2年 後期
【授業の目的・ねらい】 高次脳機能障害の捉え方や評価と評価法、脳画像の見かた、介入方法を学び高次脳機能障害に関する知識・技術を身につける。								
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院に勤務、身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。								
【授業全体の内容の概要】 作業療法士として必要な高次脳機能障害の知識・技術を教科書を交えて学習していく。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高次脳機能障害のそれぞれの症状について説明ができる。各評価の意義を説明でき、評価に必要な知識・技術を身につける。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	オリエンテーション、高次脳機能障害とは							
2	高次脳機能障害の評価の概要							
3	脳の機能解剖と脳画像の見かた							
4	注意機能障害							
5	注意機能障害							
6	半側空間無視							
7	認知の障害（失認、構成障害、着衣障害）							
8	言語障害							
9	記憶障害							
10	記憶障害							
11	行為・行動障害（失行）							
12	行為・行動障害（失行）							
13	遂行機能障害							
14	遂行機能障害							
15	感情障害、社会的行動障害							
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版 能登真一								
【準備学習・時間外学習】 それぞれの障害の病巣や特徴を把握し、検査道具を使用出来るように復習を行う。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は小テストを50点、定期試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。								